

おお大勝利

平成 23 年度山東サッカー部報第 19 号 (10 月 6 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

第2回進学校大会 笑顔なき優勝

10月1日(土)、2日(日)蔵王坊平「たいらぐらグラウンド」にて、第2回進学校大会(山交杯)が開催されました。たいらぐらグラウンドおよび猿倉グラウンドを管理し、宿泊施設ウッディロッジを持つ山交グループの全面バックアップを受け、山交杯という優勝カップをかけて争われるこの大会。山東は第1回にかなわなかった優勝を目指すとともに、次週開催される選手権大会のための良きトレーニングにしたい。天候は雨が降らず「何とか持った」という印象で肌寒かったです。天然芝にて二日間気持ち良くサッカーをしてまいりました。

顧問今野はB戦会場の猿倉とA戦会場のたいらぐらを行ったり来たり。主にBを中心に試合を見ましたが、AもBも基本的に各キャプテンを中心に選手起用やランニング・体幹トレーニング・ボールを使ったトレーニングと励んでおりました。特にBでは、ヒデキキャプテンの下、マツモトさんやミズキ、ジミケン(クサジマ)などの怪我がちだったり具合が悪かったりして休みの続いた選手らがプレーに復帰し元気にプレー。特にマツモトさんはいつ腰痛になるかもしれない体なのに、中盤でガツンガツン体を当てる献身的プレーでチームに貢献。また、MFジュリやナラオカがコチャコチャした細かなテクニクでかき回し、どっしりとした存在感のあるFWコテッチャンや右足アウトサイドの切り返しに鋭さを感じるFWチクテツを走らせたり、右サイドで飄々とプレーする細身のユウダイを走らせたりといった攻撃で、チャンスを作っておりました。

Aチームは安定感のない試合運びながら、勝ちだけは拾い続けた模様で、二日目午後の山南との最終戦を残して4勝。どうやらこの時点で第2回の優勝が決まっていたようです。それを知らない顧問は、山東Bと山南Bの試合の前半を見てから、同じ時間帯でキックオフのA戦の後半を見ようと、猿倉から駆けつける(勝った方が優勝の決定戦だと勘違いしておりました)。すると、後半はもう始まっており、すでに0-2とのこと。初日の段階で、「こんな試合をしていたら、波に乗っている山南には0-3で負けるよ」と釘を刺していたのですが、その警告が現実のものになっている。残り15分ほど試合を見ましたが、前線からボールにアプローチする山東FWやボランチの裏のスペースを的確に使われて、手厚く攻められてしまう。前線からアプローチする場合、ボールが前方にフィードされないタイミングでDFラインやMFラインを上げなければ(前の方でボールを取り切ろうと前掛かりにならなければ)みずから自陣を間延びさせてしまい、ボールを取り切ることができなかつたときにアプローチがあだとなってしまう。取り切ることができない、または、前方に押し上げができないならば、前線のラインを下げリトリート(退却)し

て後方でコンパクトに布陣する必要があるが、山東はやっていることが中途半端だし、連動がない¹。そして、現状を分析して（というか、プレーしていて自分たちのチームのどこが悪いか感じて）、チーム全体がどう改善すべきか、ピッチ内でチーム状況を変えることができない。いや、根本的に、ピッチ内でのコミュニケーションが少ないため、一人ひとりの気づきがチーム全体のものにならず、各選手が何となくフラストレーションを抱えたまま、どうしていいかわからず、ただ時間だけが過ぎて行っている。ピッチ内でおとなしすぎる、という従来の課題が露呈した試合となりました。結局、山南の素晴らしい攻撃や山東ディフェンスのミスを咎められて、その後も2失点。合計0 - 4で完敗。選手権を前にして幸先悪い敗戦でありますし、何より第2回進学校大会の優勝カップ「山交杯」を山南に持っていかれてしまった！ などと悔しがっていたら、確認をしっかりとしていなかったのですが、山南が初日興譲館戦に負けていたため、鶴南とも引き分けた山南は合計で3勝1敗1引き分け。山南に負けた山東は4勝1敗ですので、山東の方が上（ちなみに鶴南も3勝1敗1引き分け）。選手も顧問も全く気付かなかったのですが、山南戦を前に山東の優勝は決まっていたとのこと。

ということで、第2回進学校大会の優勝は山東！！ ですが、全く喜べない・・・当たり前です。試合後の両チーム選手の顔を見れば、どちらが優勝チームかは一目瞭然。山東にとって課題（できないこと）ばかりが目立った大会となりました。今大会で学んだことを、次週（というか部報を出す段階では今週）の選手権で活かすことができるでしょうか・・・。坊平まで応援に来て下さいました保護者の皆さま、OB会の報道局長、ありがとうございました。下に選手権の日程を載せておきます。よろしくお願いします。

10月9日（日）選手権2回戦 VS 山商と鶴中央の勝者 11:00～@山形商業

10月10日（月）選手権3回戦 VS 庄内総 or 明正 or 長井工 13:00～@山形中央

9日勝ったら

男 遠藤剛(前顧問) 合格を勝ち取る!!!

10月5日の教員採用試験の発表において、高校体育で受験していた前顧問の遠藤剛先生が見事合格を勝ち取りました。おめでとう、遠藤先生！ 遠藤先生は今年、実家の米沢に引きこもり、ストイックに採用試験の勉強に専念。たびたびある山形からの誘惑の誘いも断り、試験に向けて努力を重ねました。その努力が報われました！！ こんなことなら、山東にて忙しく働いて試験勉強もままならなかったここ数年は、遠藤先生にとって良かったの悪かったのかわからず複雑な気持ちになりますが、ともかくも良かった良かった。卒業生や保護者の方々もこの朗報には小躍りしていることでしょう。予備校に行っている諸君は遠藤先生のストイックな姿勢を見習い、また、合格に勇気をもってほしいものです。遠藤先生、来年は山東でお待ちしていますよ。または、どこかのサッカー部顧問となることを心待ちにしていますよ（遠藤先生の専門は剣道）。

¹ 連動というとな難しいようですが、FWが後ろの選手（MF）のサポートなく相手DFラインのボール回しを孤立して追うのは、戦術的にレベルの低いチームのすることです。前から行くならみんなで行かないとFWが無駄に疲れてしまうし、行かない/行けないならFWをしっかり下げさせなければなりません。これは何も難しい戦術ではありません。